

導入事例

25型
液晶ディスプレイ
LCD-DX251EPB小規模自治体におけるDX推進の一環として、
ペーパーレス化を加速するために

和歌山県上富田町では、自治体DXの推進に向けて、職員の業務環境を段階的に整備し、DX推進の基盤づくりを進めています。その取り組みの一つとして、高さ調整機能などを備えたアイ・オーの液晶ディスプレイ「LCD-DX251EPB」を導入しました。導入に至った経緯や活用状況について、上富田町役場 総務課 財政・管財班の中村 元樹様にお話を伺いました。

導入商品



フリースタイルスタンド採用
25型液晶ディスプレイ
LCD-DX251EPB

DX推進の第一歩は、職員の作業環境の整備から

—— 現在のご担当されている業務と、今回の導入に至った経緯を教えてください。

中村様：財政・管財班として主に情報政策関係を担当しています。令和4年度からは自治体DXの推進も担当することになり、ペーパーレス化や業務効率化のためのインフラ整備を進めています。小規模な自治体のため、複数の業務を兼務しながら、優先順位をつけて対応しています。

—— ペーパーレス推進にあたって、どのような取り組みをされたのですか？

中村様：令和4年度に「上富田町DX推進計画」を策定し、まずは職員用のデスクトップPCをノートPCに変更しました。庁内での会議にも持ち運びが可能となり、ペーパーレス化を実現しました。さらに、電子決裁の導入を進める中で、情報の閲覧性を高めるためにセカンドディスプレイの導入も検討し、最終的に今回のモデルを選定しました。

—— 今回のモデル、16:10の縦横比のディスプレイを選ばれた理由を教えてください。

中村様：ノートPCを導入する際に、閲覧のしやすさも考慮し、やや大きめの16型を導入しました。そのため、ノートPCとディスプレイのアスペクト比を揃えることで、画面の見やすさや切り替えのしやすさが向上し、業務効率も高まると考えました。



5年保証とサポート体制で導入がスムーズに

—— 導入時に重視されたポイントは何ですか？

中村様：5年間の保守サポートやサポート体制がしっかりしている点です。また、高さや角度の調整がしやすい点も魅力です。職員ごとに使いやすい高さに調整できるのは、大きなメリットです。

—— 導入されて、職員の反応などはいかがでしょう？

中村様：ノートPCの拡張ディスプレイとして使用しています。中には、ノートPCの画面を使わず、セカンドディスプレイをメインとして使っている職員もいます。最初は二画面の操作に戸惑う職員もいましたが、すぐに慣れ、今では好評です。ペーパーレス化も進み、業務効率が向上したと感じています。

中村様：私自身は、デスクトップPCとノートPCを切り替えながら使用しています。入力切替がボタン一つで簡単にできるようになると、さらに利便性が高まると考えています。また、16:10の規格に合ったのぞき見防止フィルターがなかったため、対応製品もあわせて導入できるとありがたいです。

環境整備が、デジタル化に向けての意識改革や業務改善へ

—— 今後のDX推進に向けた展望を教えてください。

中村様：役場では、「三層分離（ネットワークをセキュリティレベルによって『インターネット系』『L2WAN系』『基幹系』に分離する方法）」を採用していますが、最初に、総務課や振興課など、L2WAN系を日常的に使用する部署にディスプレイを導入しました。今年度中にさらに導入を進める予定です。まずは職員の作業環境を整えることが、DX推進における意識改革や業務改善の第一歩になると実感しています。今後は環境を整えた上で、住民向けの電子申請や窓口業務のデジタル化を進め、サービスの向上を目指したいと考えています。

取材にご協力いただいたご担当者様



上富田町役場
総務課 財政・管財班
中村 元樹 様



CLIENT DATA

導入機関／上富田町役場
所在地／和歌山県西牟婁郡上富田町